

市町ごみ処理カルテの改良について

1 市町ごみ処理カルテとは

市町が把握・公開していたこれまでのごみ処理に関するデータに加え、廃棄物会計のコスト情報や環境負荷の評価結果、住民や事業者の取組状況等のデータを用いて、ごみ処理システムの現状や課題について総合的に分析することにより、強みや弱みを明確にするためのツール

2 特徴

人口規模や産業構造が類似した市町村や県内市町間で、廃棄物処理に関する指標を比較することにより、ごみ処理システムについての客観的な評価ができる
レーダーチャート()を用いて視覚的に把握できる
より取組が進んでいる市町村を検索することができる
取組の進んでいる市町村を探し、そこが実施している施策を学ぶことにより、簡単にシステムを改善していくことができる

3 パイロット版(平成20年度作成)からの改良点

過去の実績(データ)との比較をできるようにした
指標の経年変化の表示等をできるようにした
県内の市町及び一部事務組合等に限って廃棄物会計のデータをごみ処理カルテに取り込み、情報を共有できるようにした

4 ごみ処理カルテの活用方法

ごみ処理カルテを用いて、市町は以下のような情報を得ることができ、いろいろな場面で活用することが可能となる。

廃棄物処理システムの状況を示すレーダーチャート

レーダーチャートによって、貴市町の廃棄物処理の長所と短所を視覚的に確認することが可能

住民や議会への報告・説明用資料に活用、一般廃棄物処理計画への掲載



類似市町村や県内市町の指標データ

類似市町村のデータを参照できるため、それぞれの指標毎に優良な市町村を全国から探すことができる。施策の参考とする市町村のヒントが得られる他、議会や住民と行う先進地視察の場所をこれらのデータから探し出すことができる。

取組の進んでいる市町村の把握、廃棄物処理システムを改善していくうえでの参考、視察先の検討に活用

③廃棄物会計

一般廃棄物の処理に係る原価を他の市町及び一部事務組合（県内）と比較することができるため、経済的に効率が悪いごみの種類を特定することが可能。また、市町や一部事務組合間の比較により、より原価の安い市町等を把握できるため、経済性を改善するための手がかりをつかむことができる。

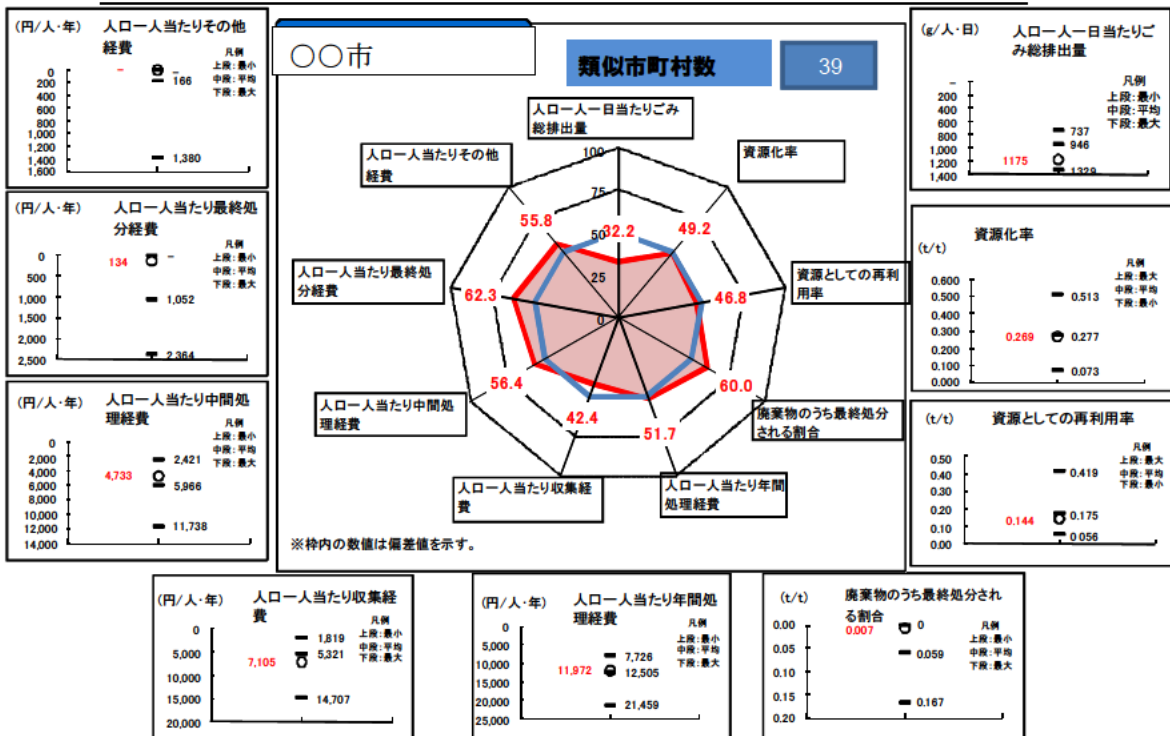
→ごみ処理や資源化に係る経済効率の把握、より安くて効率のよいごみ処理システムへの改善に活用



※レーダーチャート

レーダーチャートの青いラインは類似市町の平均（偏差値50）を示し、赤いラインは選択した市町の実績（偏差値）を示す。偏差値は良好な状態ほど高くなるように設定している。例えば、人口1人1日当たりごみ総排出量は少ないほど良好な状態を示すので、この数値が小さいほど偏差値が高くなる。また、資源化率は高いほど良好な状態を示すので、この数値が大きいほど偏差値が高くなる。

赤いラインが青いラインより外側にある場合は、取組が進んでいる指標、内側にある場合は取組が遅れている指標と考えられる。



レーダーチャートは、青線が平均値を、赤線が実績（偏差値）を示しており、偏差値が高いほど良好な状態を示しています。